

第33回日本嚙下障害臨床研究会 プログラム

会 期：2022年7月2日(土)・3日(日)

会 場：中村記念病院

札幌市中央区南一条西 14-291-190

大会長：小西 正訓（中村記念病院 神経耳鼻科）

E-mail：shomu@engeken.com

主催：日本嚙下障害臨床研究会

ごあいさつ

嚙下研、再び北の大地へ

第33回日本嚙下障害臨床研究会大会長
(中村記念病院 神経耳鼻科)

小西 正訓

いつも大変お世話になっております。2022年7月2～3日(土・日)、第33回日本嚙下障害臨床研究会を主催させていただきます。最初は2020年に開催する予定が、オリンピックと重なるとのことで翌年予定の広島との入れ替えとなり、さらにコロナ禍によって広島大会ごと1年延期となったため、結局札幌開催は2年延びることとなりました。来年本当にやるのか?まだ半信半疑ですが、準備は進めて参ります。不慣れで至らぬ点が確実に多いことと思います。何卒ご宥恕いただけたらと思います。

これを書いている今日12/16の時点で、北海道は2週間前から嚙下医学会の基準での「非流行地域」となって、今年初めてVE時のfull-PPEを解除できています。しかし、7月にはどうなっているのか、全く予想が付きません。13年ぶりの北海道開催なのですが、今まで通り大きい会場で一堂に会して行えるか、自信を持って言うことができません。全体懇親会に至っては、それ以上に実現可能性が低いと考えざるを得ません。内側のお話をすれば、キャンセル料のリスクをどこまで折り込めるかという話なのですが、自分は気が小さくて、その賭けに踏み切ることが出来ませんでした。(腹立つことに札幌は会場費の相場がべらぼうに高いのです…)

益田先生にご相談したところ「原点に立ち返って、小規模開催でもいいんじゃないか」とのご意見をいただきました。幸い広島大会を経験したことで、ハイブリッド形式を業者にほとんど頼らずに行うスキルを、当会(主に益田先生)は獲得しました。そこで我々の札幌大会は、コストのかからない院内講堂を実会場として、ハイブリッド開催とすることとしました。それならば、今後の蔓延状況によって実会場を断念せざるを得なくなっても、ノーコストでオンラインオンリーに切り替えることができます。

折角の北海道開催なのに残念、という声もあろうと思います。誠に申し訳ありません。何卒疫病に免じてご了解いただけたらと思います。自分も大変悔しいです。その悔しさは是非、討議の場面でぶつけてください。オンライン参加の方もどんどんぶつかって来てください。今回はイレギュラーな開催とはなりますが、嚙下に対する我々の思いや、やるべきことは変わらないことを、ここで表明しましょう。皆様、どうかよろしく願い申し上げます。

プログラム

7月2日 土曜日

13:00～13:10 開会・大会長挨拶
溝尻源太郎先生追悼

【初心者講習】 13:10～14:10

座長： 荻安誠（ヒト・コミュニケーション科学ラボ、
潤和リハビリテーション診療研究所）

この研究会を楽しむための「言わずもがな」「聞かずもがな」
小西正訓（中村記念病院）

休憩 14:10～14:20

【第1群】 14:20～15:20

座長： 南都智紀（京都先端科学大学）

1) 粘度指標食品の適切性

矢守麻奈（県立広島大学）

2) クエン酸咳テストにおける解釈方法の変更および「OP法」によるPAS値との関係の
検討 ～直接嚥下訓練を進め易くするために～

福間丈史（総合病院松江生協病院）

休憩 15:20～15:30

【第2群】 15:30～16:30

座長： 藤本保志（愛知医科大学）

3) 嚥下機能改善手術失敗例の検討（三回目）

津田豪太（聖隷佐倉市民病院）

4) 治療に難渋した脳卒中後重度嚥下障害例

西山耕一郎（西山耳鼻咽喉科医院）

休憩 16:30~16:40

【第3群】 16:40~17:40

座長： 金沢英哲（スワローウィッシュクリニック）

5) 発話の改善で経口摂取の導入が勧められた高齢の症例

杉本光徳（JCHO 福岡ゆたか中央病院）

6) 自己の障害に応じた独特な嚥下法を習得し、摂食嚥下機能の大きな改善を得た
Wallenberg 症候群 2 症例とその臨床応用

高田俊之（兵庫県立リハビリテーション中央病院）

休憩 17:40~17:50

【第4群】 17:50~18:20

座長： 金沢英哲（スワローウィッシュクリニック）

7) 片側顔面痙攣に対する微小神経減圧術後に嚥下障がいをもたらした一例

小西正訓（中村記念病院）

事務連絡 18:20~18:30

7月3日 日曜日

【第5群】 9:00~10:00

座長： 吉川峰加（広島大学）

8) Forestier 病に対する頸椎術後嚥下障害が遷延し、嚥下機能改善術を行った症例における舌骨・喉頭軌跡の定量的解析

犬飼大輔（愛知医科大学）

9) High-resolution manometry 新分類法開発による嚥下パターン異常の検出

田中加緒里（愛媛大学）

休憩 10:00~10:10

【第6群】 10:10~11:10

座長： 青山寿昭（愛知県がんセンター）

10) 誤嚥性肺炎を繰り返し視覚障害のある多発性硬化症患者における摂食・嚥下治療の検討
飯田有紀（北海道脳神経内科病院）

11) 誤嚥防止術を要した延髄外側梗塞後の重度嚥下障がい例がなぜ長期経過後に経口可能となったか？

前田純子（中村記念病院）

休憩 11:10~11:20

【特別講演】 11:20~12:20

座長： 小西正訓（中村記念病院）

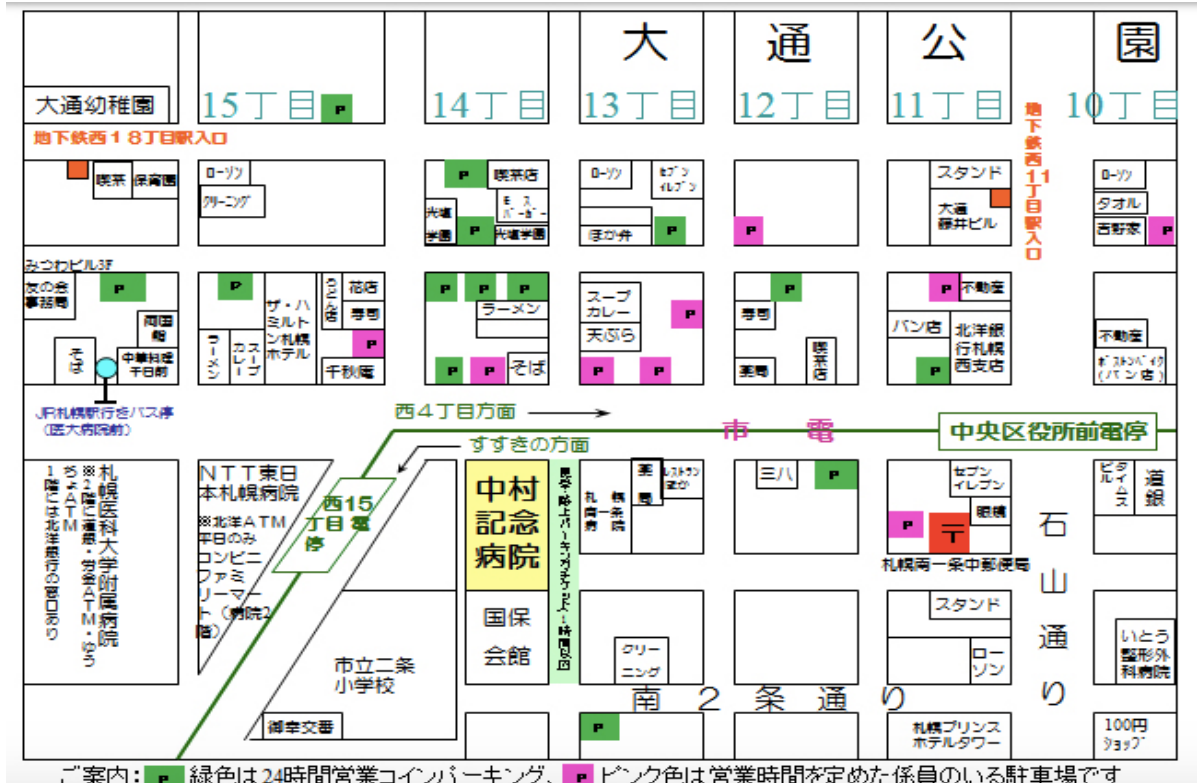
歯科医師からリハ職種にお伝えしたいこと

小野高裕（新潟大学）

閉会・次期大会長あいさつ 12:20~12:30

アクセス

中村記念病院



所在地

〒060-8570 札幌市中央区南一条西 14-291-190

交通のご案内

(札幌地下鉄東西線、西11丁目あるいは西18丁目より徒歩7分)

会場：中村記念病院5階講堂

(現地に参加される方はHPの会場案内をご確認ください)

お知らせ

【結構重要】必ずご一読ください。

● 研究会に参加される方は予習をして下さい

- 1) Zoom の弱点は画面共有機能で動画を再生するとガタガタな動きになることです。嚙下造影検査 (VF) や嚙下内視鏡検査 (VE) のプレゼンが多いことも本会の特徴ですが、その動画がガタガタしたら細かな所見を取れない可能性があります。この問題に対応するために参加者全員、全てのプレゼンを先に見ておくことをお願いします。
- 2) プレゼンが7分以上あると9題全部をみて予習するのは結構辛いです。発表者は発表時間7分を厳守して発表動画を作成してください。
- 3) ですので、この研究会に参加するためには事前登録が必要です。原則として当日参加は受け付けませんし、会場には受付はありませんので、その点をご了承ください。

● 現地参加者の皆さまへ

- 1) 所属されている病院・施設に現地参加することが可能かどうかを事前にご確認ください。
- 2) 役に立つのかどうか分からない COCOA アプリですが、インストールとアクティベーションをお願いします。アプリを検索するときのキーワードは「接触確認アプリ」になります。
- 3) 会場内では常時マスク着用をお願いします。会場入り口でアルコール消毒もお願いします。
- 4) 体調不良や発熱等がある場合は参加をお控えください。会場で体温を測るなどはしません。医療従事者としての皆様の良心に頼りたいと思います。
- 5) 会場入口あるいは会場内で事前参加を確認させていただくことがあります。スマホ等で「参加証明書」提示できるようにあらかじめご準備ください。ネームプレートの着用は不要です。
- 6) 当日の参加申し込みはしておりません。事前登録を必ずお願いします。そのほかのお問い合わせがある方は、入口を入ってすぐの座席にスタッフがいますので、そちらにお声かけください。
- 7) 発表スライドの撮影・録音はお控えください。
- 8) 手荷物の預かりはしておりません。
- 9) 会場内での飲食はコロナ感染拡大防止の観点から禁止します。飲水ぐらいは、とも思うのですが、7月上旬の感染状況で当日判断したいと思います。



(次のページ：オンラインで研究会に参加される方へ)

● オンラインで聴衆として参加される皆さまへ

- 1) 事前準備 1：研究会に参加する時に使用するデバイス（パソコン、タブレット端末、スマホ等）に **Zoom ミーティング** アプリの最新版を予めインストール（アップデート）してください。インストール（アップデート）したら、コンピュータは再起動させる必要があります。研究会前に一度テスト接続をする時間を設けるつもりです。詳細はメールでお知らせします。
- 2) 事前準備 2：リアルタイムにメールでお知らせすることもあると予想されます。メールのチェックを小まめにお願いします。メールを出したかどうかは HP でお知らせします。
- 3) 研究会当日 Zoom アプリを立ち上げたら、「参加」をクリックして、あらかじめお知らせする「会議 ID」を入力し、その下段の「名前」に「**整理番号+平仮名氏名**」を入力してから「参加」をクリックしてください。パスワードを入力する画面になりますので、そこに会議に参加するためのパスワードを入力してください。



- 4) ミーティング画面が表示されたら、すぐに左下のマイクを「ミュート」にして、その隣のビデオアイコンを「ビデオ停止」にしてください。マイクとビデオカメラのアイコンには赤い斜線が入るはずですが。
- 5) 質問はチャットに投稿してください。座長補佐がチャットを読み込んでどの質問を採用するかを決めますので、座長から指名された方は「ミュート解除」をして、「ビデオを開始」した上で画面ごしに質問をしてください。質疑応答が一通り終わっても、その発表演題が終わるまでは、マイクもビデオをオンのままで結構ですが、一つの演題が終了したら、速やかにマイクをミュートにして、ビデオを停止してください。



● 会場で発表される演者の皆さまへ

- 1) 発表の1時間前までに、会場にお越し下さい。
- 2) 一般演題の発表時間は質疑応答を含めて30分です。
- 3) プレゼンは7分以内でお願いします。プレゼンが10分を超えた場合には座長と進行（小西大会長）の権限でプレゼンを打ち切ることがあります。時間厳守でお願いします。

● 会場で発表される際の注意点

- 1) 発表は、コンピューター持込でお願いします。接続コネクタはHDMIのみです。コンピューター持ち込みに不安がある方はなるべく早く、オペレーター（益田）にご連絡ください。
- 2) 発表データ及びPC本体は、来場受付を済まされた後、ご自身でPC本体を会場内におりますオペレーターにお渡しください。セッション終了後ご自身でお引取りをお願いします。
- 3) 発表の15分前までに、会場内の左前方席にてお待ちください。
- 4) 電源アダプターは各自ご持参ください。
- 5) 接続トラブルなどの場合に備え、バックアップデータを必ずお持ちください。会場でプレゼンバックアップに使用するパソコン（益田 Mac と吉田 Windows）に一旦保存し、研究会終了後に事務局（益田と吉田）が責任をもって消去します。
- 6) 動画の参照ファイルがある場合は、全てのデータを同じフォルダに入れてください。

● オンラインで発表される皆さまへ

- 1) やむを得ない理由で当日会場にお越しいただけない場合、改めてプレゼン動画（4:3サイズのmp4形式のみ）を作り直した上で事務局までご連絡ください。その場合の締め切りは6月30日になります。
- 2) 質疑応答がありますので、プレゼン動画が流れている間にミュートを解除し、ビデオを開始した上で、座長の指示をお待ちください。

● 座長・座長補佐の皆さまへ

ご担当の群の開始15分前までに、会場右前、壇上への階段付近におつきください。

● 懇親会

やりたいけど・・・多分無理だと思います。

● 世話人の皆さまへ

研究会1日目11時より会場で世話人会をします。世話人の皆様にはご参集いただきますようお願いいたします。なお、世話人会はZoomの設定確認を兼ねておりますことをあらかじめご了解ください。